

みえモデルワーケーションプロジェクト推進方針の概要

■ 策定趣旨

首都圏、関西圏、中部圏等都市部の企業や個人が安全・安心かつ快適に仕事ができる「ワーケーション」の受け入れを県として推進し、**関係人口の増加による県内経済の活性化や地域課題の解決、移住の促進**につなげるため、オール三重で**“みえモデル”ワーケーションを創造**する推進方針を策定します。

“みえモデル”ワーケーションの考え方

■ “みえモデル”のイメージ ▶ 「**とこわか(常若)**」=いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。

本県がワーケーションの実施先として選ばれるために、三重県が誇る**豊かな自然や食、長い歴史・文化に育まれた地域資源の活用**に加え、これまで取り組んできたさまざまな**県施策と連動**させた“みえモデル”を創造します。

心身ともに健やかになり、リフレッシュできる“みえモデル”ワーケーションは、**クリエイティブで新しい発想を生み出す自由で新しい働き方やサステイナブルで豊かなライフスタイル**をイメージしています。



SDGsの目標達成にも貢献



← テレワーク (志摩市)



→ SUP体験 (大台町)

取組の方向～推進するための3つの柱～

ワーケーション推進における諸課題を解決するため、以下の3つの柱で市町、商工団体、民間事業者等と連携しながらオール三重で取組を展開します。

■ 環境整備 ～選ばれる三重になるために～

・受入体制の構築

ワーケーションに必要な受入環境の整備を支援するとともに、多様性のあるモデルプランのブラッシュアップを進めます。

・取組企業等に対する支援

ワーケーション導入に必要な労務管理に対する支援体制を充実します。また、県内への企業の業務移転に対して重層的な支援メニューを揃えます。

■ 情報発信 ～三重の宝を伝える～

・国内外へのプロモーション

企業・個人を誘致するため、メディアなどを活用し、安全・安心で快適な“みえモデル”を積極的に発信します。

・マッチングの促進

的確なマッチングを促進するため、WEBサイトを構築・活用します。また、オンラインイベント等のマッチング機会を提供します。

■ 人材確保・育成 ～地域の絆を活かす～

地域の魅力を伝え、豊富なネットワークで人と人をつないでビジネスへの展開ができるような地域コミュニティの人材確保、育成に力を注ぎます。



← 文化体験 (津市)

推進体制

■ 推進組織

三重県営業本部（本部長：知事）の下部組織に「ワーケーションプロジェクト関係課長会議」を位置づけ、全庁的に推進します。また、持続可能な取組となるよう、ワーケーションに積極的に取り組む企業を中心とした自走できる組織体制の構築をめざします。

■ 市町・商工団体等との連携

ワーケーション推進に積極的な市町・商工団体等の特色ある取組や受入施設などの事業者を核とした地域ぐるみの取組を研究会などで情報交換するとともに、“みえモデル”としてオール三重で一体的な情報発信を行います。

■ 企業との協創

“みえモデル”をスピード感をもって進化させ、普及するために、包括連携協定先の企業や三重県ゆかりの企業によるワーケーションの有効性を検証するためのモニター参加や企業合宿・研修、福利厚生などでのワーケーションの積極的な活用による協創を進めます。